

## 芦生の森 ～京に残された大自然～

千年の都・京都。

その中心部より北へ約 40km のところには、茅葺き民家が多数残存し、日本の原風景が残る里として近年とみに有名になった美山町があり、その東端に位置するのが京都大学芦生研究林・通称、芦生の森です。

当地は、1921 年(大正 10 年)より京都大学農学部附属芦生演習林として 99 年の契約において地上権が設定され、各種学術研究や教育の場としての利用が開始されました。

さらに時代は進み、2003 年には、大学内部の機構改革に伴い、名称を京都大学フィールド科学教育研究センター森林ステーション・芦生研究林、通称「芦生研究林」と改められました。

また、当初の契約であった 99 年の地上権設定の契約は、2020 年に満了となり、同年に改めて、向こう 30 年の研究林としての地上権が更改され、現在に至っています。

同地は、総面積約 4200 ヘクタールあり、その面積は京都御所 67 個、甲子園球場 1050 個分という広大な面積を有します。

東京で言うと、山手線の内側面積のおよそ、3分の2の面積に相当します。

位置的には、北に福井県、東に滋賀県、南に京都市左京区と境を接しています。

この森の最大の特徴は、日本海側・太平洋側それぞれの気候がぶつかり合う所でそれゆえ、木本・草本・シダ類合わせて 1000 種類以上の植物が確認され、明治時代の著名な植物学者である中井猛之進博士が遺した言葉に「植物ヲ学ブ者ハ、一度ハ京大ノ芦生ヲ見ルベシ」とあるほどです。

また、鳥類は 111 種、本州に生息するとされている哺乳動物のほぼすべてが確認され、大都市近郊でありながら大変貴重な自然が残されているところです。

また、全域にわたって 1000 メートルを超える地点はなく、そのような低標高のエリアで手付かずに近い自然が残されている場所も全国的にも例をみません。

当地は、昭和40年代に持ち上がった若狭地方に存在する関西電力の原子力発電所の補完物ともいえる揚水式発電ダム建設計画に揺れ、近年においては北陸新幹線小浜-京都延伸ルートがこの森のすぐ近くを通過する見込みであるなど、開発と保護に揺らぐ現状もあります。

さらに近年においては、異常繁殖した鹿の食害により植生の急激な変化、また「ナラ枯れ病」と呼ばれる病害虫の異常発生を原因とするナラ類(ミズナラやコナラ)の大量枯死といった人間活動に端を発する自然環境の大きな変化も起きており、今後の対策が求められているのが現状です。

私が当地を始めて訪れたのは1986年のことでした。

私事になりますが、その前年に私は自転車で北海道一周の後、鹿児島まで走行するという旅をしました。

その旅は、日本の原風景を求める旅でもありました。

当時、すでに全国どこを訪ねても、そのような風景はありませんでした。

しかし、同年に京都府中部にある美山町を訪ねてみたところ、私が求めていた日本の原風景ともいえる農村風景に加え、本当の「原生林」ともいえる、芦生の森に出会うことができました。

求めていた風景は、まさに足元にあったわけです。

その後、全国各地やいくつかの海外の国々を旅したのですが、その後あらためて地元ともいえる芦生の森の魅力を再認識いたしました。

季節ごと、天候によっても時間帯によってもさまざまに表情を変える森。

その魅力に引き込まれるがごとく、頻繁に森に通うようになりました。

先述のとおり森は近年、急速にその姿や様相を変えつつあります。

かつて、藪に覆われていた森は、鹿の食害などにより、場所によっては、赤茶けた地面が露出し、痛々しく感じる箇所も存在しています。

亭々たる姿を見せていた巨樹の数々もおそらくは、気候変動を原因とする環境の変化により姿を消していきました。

しかしながら、今の芦生の森に魅力がないわけではありません。

また、「昔は良かった」というような懐古的な感覚も持ちたくはありません。

じっくりと森と向き合っていると、時には驚くほどに美しい情景を見ることも少なくありません。

たとえ、森をとりまく環境が変化したとしても、季節ごとに森は表情を変え、時間帯や天候の変化によってもさまざまな姿を見せてくれるのです。


そんな、「今」の森の現状を記録・表現することにより、この森の魅力と大切さを多くの方々に写真を通じてお伝えできればという思いから、私といたしましては撮影活動を継続させていただいてきた次第です。

そして、後には同地のガイド活動もおこなうようになり、写真とガイド活動を通じ芦生の森の魅力と大切さを発信することがライフワークとなりました。

この程、開催させていただける写真展にて、芦生の森の姿をみなさまにご覧いただき、このような森が京の地にあるということ、そしてその森を後世に引き継ぐことの大切さを知っていただければ幸いです。

(公社)日本写真家協会会員 (公社)日本山岳ガイド協会・自然ガイド

(一社)芦生もりびと協会認定芦生研究林ガイド 広瀬慎也



京に残された大自然 芦生の森  
広瀬 慎也 作品展

Kyoto's Untouched Wilderness — The Forest of Ashiu  
Shinya Hirose Photo Exhibition

2026.2.13 [Fri.] - 2.26 [Thu.] 11:00 - 19:00

Sony Imaging Gallery  
ソニーイメージングギャラリー 銀座【銀座プレイス6F】



# 京に残された大自然 芦生の森 広瀬 慎也 作品展

Kyoto's Untouched Wilderness — The Forest of Ashiu  
Shinya Hirose Photo Exhibition

2026年2月13日(金)～2月26日(木) 11:00～19:00

会期中無休 入場無料(Admission free)

ソニーイメージングギャラリー 銀座

〒104-0061

東京都中央区銀座5-8-1 銀座プレイス6階

(東京メトロ銀座駅A4出口直結)

TEL 03-3571-7606

[www.sony.co.jp/imaging/gallery/](http://www.sony.co.jp/imaging/gallery/)



\*当ギャラリーのウェブサイトまたは各SNS公式アカウントにて、最新の開催状況をご確認の上ご来館ください。

差出人

住所